

Vivid You & I

2013年3月
Vol.32



自分らしく働く 自分らしく生きる

主 な 内 容	■ 女性の就労2
	■ 今、働いている女性の声3
	■ 男女共同参画プラザ事業報告4~7
	■ 男女共同参画プラザのインフォメーション8

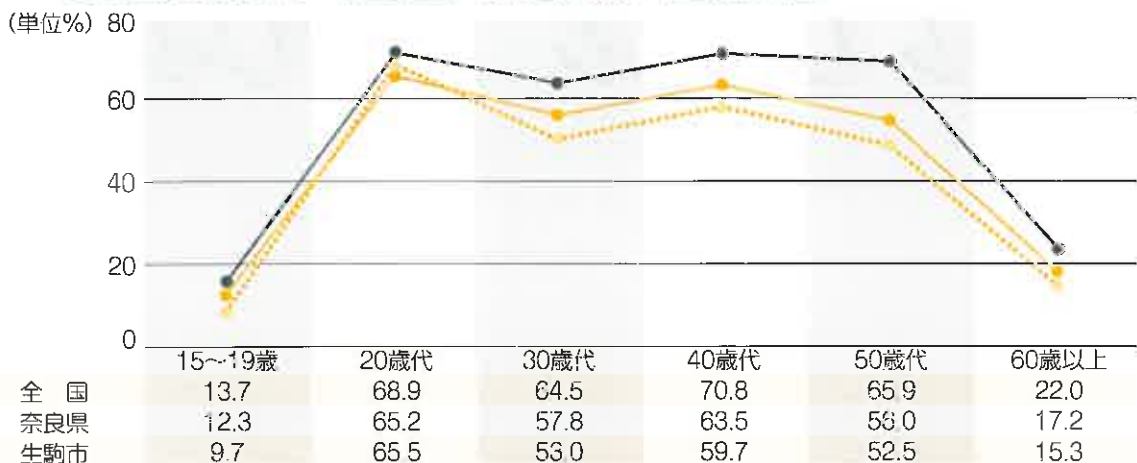
「Vivid」はあざやかな、生き生きとした、活発な、はつらつとしたという意味の英語です。「You & I」は本市の男女共同参画行動計画にも用いたとおり、女性と男性のパートナーシッ

プを意味する言葉です。「女性も男性もいきいきと生きることができる」という、男女共同参画社会の理念を明確に表わす言葉として、愛称に決めました。

女性の就労

女性就業率(全国・奈良県・生駒市)

図1



女性就業率の全体平均 国：47.1%、奈良県：40.9%、生駒市：39.6%

※「平成22年国勢調査」による

奈良県は全国で最も女性就業率の低い県となっています。図1の女性就業率のグラフをみると、20歳代では奈良県も生駒市もほぼ全国並みであるのに、30歳代以降では、全ての年代で、全国よりも低くなっています。

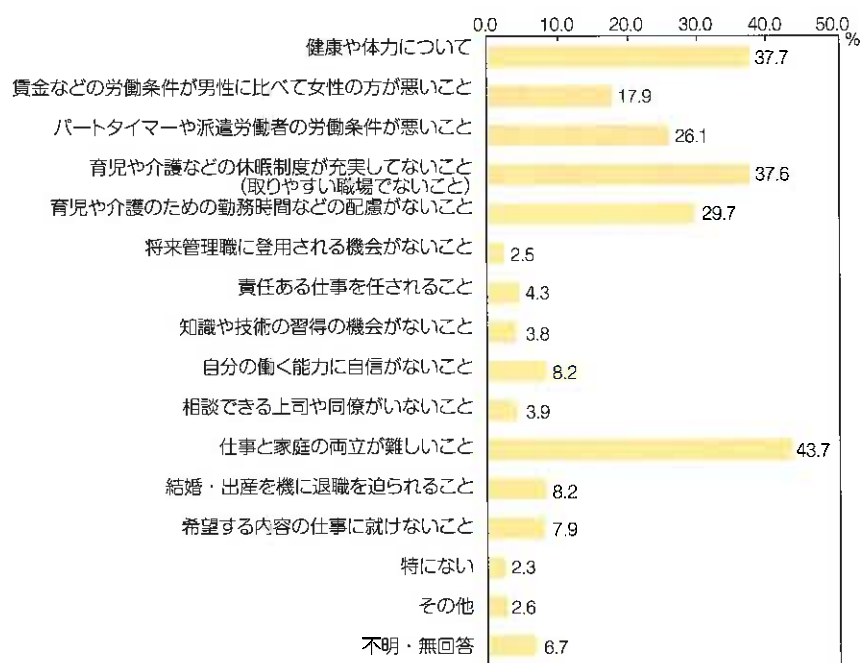
その特徴は、奈良県や生駒市は全国よりM字の谷が深く、再就職の時期となる40歳代以降では20歳代より就業率が低くなっていることにあります。このことから考えられるのは、奈良県の女性は、全国に比べて、出産・育児期には専業主婦になる傾向があり、子育て後に再就職する人の割合が低いということです。そして、生駒市は奈良県平均よりもさらに再就職率が低くなっています。

奈良県が実施した『女性の就業等意識調査』における、「女性の生き方の《理想》と《現実》について」では、「出産後も仕事を続ける（結婚後も仕事を続ける）」の「就業継続型(両立型)」が《理想》の回答が最も多くなっています。しかし、《現実》は結婚・出産などで一時退職し、その後再就職する「一時退職再就職型」が最も多くなっています。結婚や出産をしても変わらず働きたいと望んでいても実際はそう出来ないのが現状です。

《理想》と《現実》の差は大きいようです。

※参考：奈良県「女性の就業等意識調査 結果報告書」

図2 女性が働くのに(働き続けるのに)不安なことや悩みはなにか



なぜ、《理想》とする選択肢を選ばないのでしょうか？

図2は奈良県が実施した「女性の就業等意識調査」における、働くことに関する女性の主な悩みについての回答結果です。

結果は「仕事と家庭の両立が難しいこと」「健康や体力について」「育児や介護などの休暇制度が充実していないこと(取りやすい職場でないこと)」が多くなっています。

仕事と家庭の両立の難しさや育児休暇や介護休暇が取りにくいという問題があるようです。

※参考：奈良県「女性の就業等意識調査 結果報告書」

今、働いている女性の声

Aさんの場合

(40歳代、夫50歳代、子1人)

職歴

大学卒業後、眼科に受付業務で就職。3年後に退職、子どもが中学生になって再就職。

転職等のきっかけ

子どもが中学生になり時間に余裕ができた時に自分の将来を考えました。ぜひ、また社会復帰して自分の社会での居場所が欲しい。家庭以外でも自分が何かの役に立ちたい、必要とされたいという欲求があったのだと思います。

今働いていることへの気持ちと今後

仕事をしていると毎日いろんな発見があり、学ぶことも多く、今までになく充実していると思います。これから先も雇ってくれる所がある限り自分のできる範囲で働き続けていきたいと思っています。

家族の反応

働き始めてからのほうが、私が楽しそうにしているので家族は喜んでいて応援もしてくれます。今は週3日でなんとか家庭と両立しているのでもういいです。夫は何でもこなせる人ですが、仕事が忙しい上に出張も多く家事を分担してもらえませんので、私の勤務が週5日になると、家族や家庭は混乱するかもしれません。

Bさんの場合

(60歳代、夫60歳代、子1人)

職歴

最初の就職は事務職。40代で転職した後はずっと働き続けている。

転職等のきっかけ

当時は女性が結婚や出産後も就業し続けることは考えられない状況だったが、周りが結婚退職していく中、仕事を続けたい気持ちが強かったため、何とか頑張って働き続けていました。しかし、夫の海外赴任を機に夫の家事援助がなくなったため、続けたい気持はあったが、子どものことを考えて転職した。

今働いていることへの気持ちと今後

子どもがいるので多くの残業はできなかったし、子どもの病気や家事でリスクは高かったが、双方の両親や近所の支えがありここまで働き続けることができたと思う。でも、仕事が好きで生き甲斐であるという思いが一番強かったと思う。今後、ひとりひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、自分のやりたいことを手にできる世の中になれば、女性にとっても生きやすくなると思う。

家族の反応

長い間家族の支えがあり働き続けてこられた。一番うれしかったことは、息子が就職したとき「仕事だけでも大変なのに家事・育児をしてくれたことは大変だったと思う。尊敬した。」と言われたことです。息子は今「イクメン」しています。

Cさんの場合

(50歳代、夫50歳代、子2人)

職歴

高校卒業後、事務で就職。29歳で退職。40代で再就職(パートタイム)

転職等のきっかけ

当時は寿退社が普通だったし、11年勤務したこともあり、専業主婦で少し落ち着いた時間も欲しかった。また年齢のこともあり、子ども早く欲しかった。

40代になり、子育ても落ち着き、経済的な面、親との同居などの理由で再就職した。子ども関連の時間的な問題でパートタイムを選択した。

今働いていることへの気持ちと今後

子どもの学費の増加や夫の収入も不景気の影響で減給傾向にあるため、少しでも家計の足しにと働いている。働くことで、生活のリズムも出来、職場にも恵まれ、楽しい良い刺激もあり、自分なりに充実した日々で満足している。ただ、契約期間があるため、その後の就職先を思うと不安でもある。子どもが大学を卒業するまでは経済的に働かなければと思っています。

家族の反応

家族も協力してくれている。何より、私が元気で生き生き働いていることに、言葉はないですが喜んでくれていると感じます。

Dさんの場合

(50歳代、夫50歳代、子なし)

職歴

高校卒業後、事務で就職。30歳からアルバイト

転職等のきっかけ

引越してきて、地域のこと等知らないで、近くでアルバイトを探した。

今働いていることへの気持ちと今後

働いていると、日々充実感がある。

家族の反応

応援してくれている。家事など協力的になった。

Fさんの場合

(40歳代、夫なし、子なし)

職歴

大学卒業後営業職で就職。3ヶ月で転職(フルタイムアルバイト)。20歳後半で再就職(正社員)

転職等のきっかけ

最初の就職で合わずにすぐに転職しました。アルバイトは保険も年金もあったので収入は少なくとも何とか数年生活していましたが、先の不安もあり、再度、転職しました。

今働いていることへの気持ちと今後

一度結婚し、離婚しました。結婚しても仕事は続けていて、共働きだったので夫婦喧嘩の度に、家事分担が理由で私の退職の話が出ましたが、離婚した今は辞めなくて本当に良かったと思っています。

私がどんなに忙しくても、家事は一切してくれない夫でした。最初にきちんと家事分担等を話し合ってお互いの状況を見ながら協力し合っていたら離婚していなかったかもとも考えることがあります。

今後はどうしてもやりたいことが見つからない限りは転職や退職はしないと思います。

でも、親の介護等が必要になったとき今までどおり働き続けることが出来るのか考えることがあります。

家族の反応

身内とは離れて暮らしているため、心配はしてるとは思いません。離婚当時は仕事を辞めて帰ってきてはどうかと言われましたが、親が高齢になってきたので、今、仕事を持って、経済面で安定しているのは良かったと言っています。

Eさんの場合

(20歳代、夫なし、子なし)

職歴

短大卒業後就職(販売)。24歳で事務のアルバイトに

転職等のきっかけ

販売職は、朝から晩まで(8:00~23:30位)働いて、時間に余裕がまったくなかったので、今はアルバイトをしています。アルバイトですが保険と年金があるのが決めてとなりました。

今働いていることへの気持ちと今後

今の仕事に満足しています。学ぶこともたくさんあり、充実した毎日を送っています。今後もいろんな経験をしていきたいです。

家族の反応

応援してくれています。

前ページの「今、働いている女性の声」どう感じますか？

声を寄せてくださった皆さんは、今、生き生きと日々を過ごされているようですが、結婚や出産で退職し、再就職してもパート勤務という傾向が強くと、もっと働くためには、今のままでは様々な障害があるようです。夫が忙しすぎる・子どもや親のことが心配・・・など。

通勤時間が短いところに就職先があれば、介護や育児をもっとサポートしてもらえる体制があれば《理想》と《現実》は近づいていくのではないのでしょうか。

働いている人も専業主婦も、もっと色々なことに挑戦したいし、自分の時間も欲しい。そんなみんなが、多様な選択肢の中から自分の望むようにやりたいことを選択できるようになるには、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進や職場環境、高齢者・子どもを地域で見守る体制を整えることが重要といえます。

男女共同参画プラザ事業報告

男女共同参画プラザでは、男女共同参画社会の実現を目指して、様々な事業を開催しています。

「未知への挑戦」 “できる前提”での取り組み

堀木エリ子講演会

平成24年11月15日（木）に、世界的に活躍する㈱堀木エリ子&アソシエイツ代表取締役・和紙デザイナーの堀木エリ子さんをお迎えし男女共同参画講演会を開催しました。

この講演会は、男女共同参画をより広く推進するため、生駒市男女共同参画プラザと生駒商工会議所女性部・奈良商工会議所女性会とが合同開催したもので、堀木さんの様々な壁にぶつかりながらも、何事にも前向きに情熱を持って取り組み、壁を乗り越えてきた体験談を作品の映像を交えながらお話しされました。

会場は、80名を超える参加者でほぼ満員となり、堀木さんの熱い話に聴き入っていました。



講演会
堀木エリ子氏

和紙デザイナーであるが、デザインを専門的に学んだことがなく「本人だからこそ、判断力がない自由に発想できた」「無理だ」ということを知らないから挑戦できると前向き。
人は働き続ける中でいろいろな壁にぶつかる事がある。その壁を乗り越える手本となるロールモデルの存在は元氣や勇気を与えてくれる。そのロールモデルの堀木氏の仕事への取り組み、生き方、これまでのご自身のお話などを密着して頂く。
ウーマン・オブ・ザ・イヤー2003
女性企業家大賞（全国商工会議所女性会連合会）など多数受賞されるなどますます活躍中。

1962年京都生れ。
高校卒業後、4年間の銀行員生活を経て、手漉き和紙商品開発会社へ転職。
2000年、㈱堀木エリ子&アソシエイツを設立

平成24年 11月15日
午後2時～午後3時30分（開場：午後1時30分）
生駒市男女共同参画プラザ
402・403・404会議室
100名（定員になり次第締め切ります）

お問い合わせ先：生駒市男女共同参画プラザ TEL.0743-74-3515 主催：生駒市男女共同参画推進委員会 奈良商工会議所女性会
奈良商工会議所女性部 TEL.0742-26-8222 共催：生駒市男女共同参画プラザ

堀木エリ子さんプロフィール

1962年京都生まれ
高校卒業後、4年間の銀行員生活を経て、
手漉き和紙商品開発会社へ転職
2000年㈱堀木エリ子&アソシエイツを設立
ウーマン・オブ・ザ・イヤー2003
女性企業家大賞（全国商工会議所女性会連合会）など多数受賞

気づきのための 男女共同参画基礎講座

平成24年10月12日(金)～11月6日(火)全5回 於：コミュニティセンター

日常の身近なことを男女共同参画の視点で考え、思い込みに気づくことを目的に基礎講座を開催しました。

1回目

日時 10月12日(金)

テーマ

「変わる家族のきずな」
～少子高齢社会を共に生きる～

講師 奈良大学教授
宮坂 靖子さん



2回目

日時 10月16日(火)

テーマ

「生活とジェンダー」
～考えてみよう!
身の回りにおける思い込み～

講師 奈良教育大学准教授
立松 麻衣子さん



3回目

日時 10月26日(金)

テーマ

「メディアリテラシー」
～見直そう!あたり前と
思っている、いろいろな表現～

講師 フェリス女学院大学教授
諸橋 泰樹さん



4回目

日時 10月30日(火)

テーマ

「これって、DV?」
～DV、デートDVを知る～

講師 参画ネットなら代表
風味 良美さん



5回目

日時 11月6日(火)

テーマ

「地域における男女共同参画」
～私が変われば地域が変わる～

講師 奈良教育大学准教授
立松 麻衣子さん



講座受講者の声

人が生まれてから死を迎えるまで、それぞれの年代で性別(ジェンダー)の意識が植えつけられていることに気づきました。社会的、文化的に形成されてしまっていると、なかなか取り除くことは難しいほか、性差について気づくこともないままだったことに気づきました。

私たちの生涯の中で、誰もがとても身近な問題として感じていることがたくさんあります。

今まではあたりまえだと思っていたことの中にも、問題がたくさんあると気づかせてくれる、これが男女共同参画基礎講座をうけての自分の感想です。

私の場合では、今現在はちょうど育児と再就職の間ぐらいです。

子どもが小学校に通うようになると、日中に時間ができるので、この時間を使ってパートの仕事があればなど考えています。

ところが、日中の時間といっても、ごみ当番があり、小学校の行事や、役員など、あと子どもが早く帰る日、習い事の送り迎え、そんなことを考えるとなかなか足が踏み出せませんでした。

しかし、これらの足かせがあったとしても「働きたい」という意欲があれば、「働きたい」といってもいいのだと学びました。

このような、何かをしたいという気持ちがあれば、その気持ちをくみ取ってくれる制度が「男女共同参画」なのではと思いました。

このあと、この受講者の方は、再就職という一歩を踏み出されました。
このように皆さんの背中を押せるような講座を今後も開催していきます。

父子でつくろう！楽しいクリスマスケーキ

平成24年12月9日(日) 於：南コミュニティセンターせせらぎ

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進を目指して、男性の家事参加のきっかけとするため、クリスマスを前に、お父さんと小中学生の子どもとでスポンジを焼くところから始める本格的なデコレーションケーキづくりの講座を開催しました。

普段から家事をするお父さんもしていないお父さんもお菓子作りは初めて。それでも、作業を分担しながら、楽しくケーキ作りをしました。

先生に教わりながら、
クリームが泡立って…。
けっこう力がいらいます。
お父さんガンバレ!!



パパと分担して、
デコレーションの
準備



2人とも上手にできてるかな？
お姉ちゃん、チェックします。

みんなで試食。
ケーキおいしい(^^)



さあ、いよいよ
デコレーション開
始



参加者の感想

料理は毎週していますが、お菓子作りは初めてだったので楽しかった。また、息子と家で正月にでもチャレンジしたいと思いました。

お菓子作りには料理と同様に準備と手順が大切なことが分かりました。

もっとむずかしいかなあと思ったけど、いがいとかんたんでした。

自分で作ったら意外においしかった。また作るきかがあれば作りたいです。

娘と一緒にできてよかった。

お父さん
たち

お菓子作りの緻密さを実感しました。家でも少し材料にこだわって作ってみたいと思います。

かんたんにケーキがつかれてすごくたのしかったです。

子ども
たち

すごくむずかしくてできたら楽しかった。

お菓子をつくるのにもけっこう力があるんだなあとおもいました。

今まで家でケーキを作ってもらっても、あまりおいしいとは思ってなかったのですが、これだけの手間と準備があって出来ていたものと初めて気がつきました。家での食事や生活に感謝しなければならぬと思います。

意外と上手にできて楽しかったです

ケーキを手作りしたことはなかったので、いいたいけんをしたと思いました。

ケーキはつくるのが大変で失敗しやすいのにおいしくかんたんにできて良かった。

あなたも話し方上手に!セミナー

自分の魅力を再認識し、話し方の基本を学び、自然で自信に満ちた話し方を身につけるための講座

■講師 人材活性コンサルタント 吉田 真知子 さん
1月15日(火)~2月19日(火) 全4回

- 第1回 「自分らしさ・魅力に気づきましょう」
- 第2回 「基本的な発声・発音を学びましょう」
- 第3回 「話し方・魅せ方を磨きましょう」
- 第4回 「仕事や対人関係に活かしましょう」



受講者の感想

- ・わかりやすく具体例を入れて話をしてくれたので聞きやすかったです。
- ・自分の話し方を客観的に考えることがなかったのでとてもよかったです。
- ・話が（特に大勢の前で）苦手なので、この講座は盛りだくさんでとてもためになった。
- ・講座内容は楽しくとてもわかりやすかったので、是非、普段の生活にも取り入れていきたいと思いました。ありがとうございました。
- ・具体的なお話が多く分かりやすかった。実践的な演習もあり、楽しかった。参加者が多く、刺激を受けた。自分を知ることが出来た。

出前講座

学校や事業所・自治会等で男女共同参画に係る講座等を企画される場合に講師の派遣をしています。
派遣実績

☆テーマ：「人と人とのよりよい関係について考えよう～デートDVについて知る～」

受講団体：生駒中学校PTA、大瀬中学校PTAなど

☆テーマ：「父親の子育て参加」

受講団体：なばた幼稚園育友会

男女共同参画プラザ平成25年度の行事予定

■男女共同参画週間関連行事
(6月23日~6月29日)

いこま 女と男 You&Iフェスタ
パネル展示

■人間関係セミナー

6月上旬~7月中旬頃開催予定

講師 平松 みどりさん

その他、各種講座等を予定しています。

詳細は、市広報誌、ホームページ等で公開していきます。

出前講座も随時受け付けています。

男女共同参画プラザのインフォメーション

女性のための相談室

相談専用ダイヤル

☎0743-73-0556

女性が抱えている悩み(夫婦、家族、対人関係等)の相談に応じ、自分らしい選択、決定をしていけるように支援しています。

相談無料・秘密厳守・市民対象

一般相談(電話・面接)

火～土曜日の午前9時～午後4時
※面接相談は、要予約

法律相談(面接・一人30分間・要予約)

毎月第3水曜日の午後1時～午後4時
※予約は1週間前から

ひとりで悩まないで…
DVや虐待などの暴力的な環境にさらされた経験がある方だけでなく、良い子、良い妻、良い母でなければならぬと頑張ってきた方の中にも、自分が何を感じ、どうしたらいいのかわからなくなっている方が少なくありません。
女性だからその生きづらさをいっしょに整理していきましょう。
そして、あなたがあなたらしく一歩を踏み出せるヒントを、一人ですぐに、いっしょに見つけていきましょう。

生駒市男女共同参画プラザの開館日及び時間

火～日曜日 午前8時30分～午後5時15分

休館日

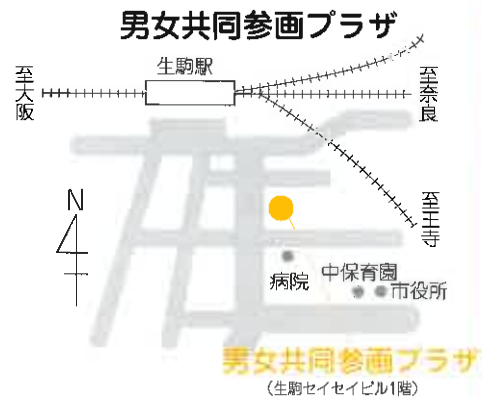
月曜日及び年末年始(12月27日～1月5日)

編集後記

奈良県の意識調査では多くの女性が結婚・出産後も「働きたい(働き続けたい)」と答えています。でも、女性の就業率が全国で最も低くて専業主婦率が全国1位の奈良県。あなたは自由な選択をできていますか?あなたには何が必要か考えてみてください。

感想や体験談をお寄せください!

印象に残ったページとその感想や今後扱ってほしいテーマなどを郵便、ファクスで、男女共同参画プラザまでお送りください。また、我が家の男女共同参画体験談(家事・育児の分担等)もお送りください。(お寄せいただいた感想、体験談等は記事に採用させていただくことがございます。)



生駒市男女共同参画情報誌 第32号 2013年(平成25年)3月発行

編集・発行 生駒市男女共同参画プラザ
〒630-0257 生駒市元町1丁目6番12号 生駒セイセイビル1階
TEL0743-75-0237 FAX0743-73-0555